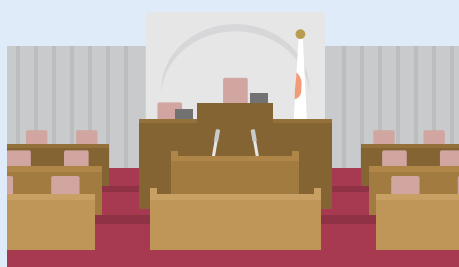


こ こ が 知 り た い

一般質問

一般質問とは？

「一般質問」とは、市政全般に対して行う質問のことをいいます。



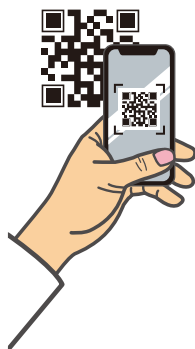
9月議会では、14人の議員が様々な分野にわたって一般質問を行いました。詳しい内容は、各議員の欄にある二次元コードから動画をご覧ください。

二次元コードの使い方

- ① スマートフォンやタブレット端末のカメラ機能を起動します。
- ② 二次元コードを機器の画面に映します。
- ③ 二次元コード付近に表示される URL やメッセージをタッチします。
- ④ リンク先が表示されます。

※このコーナーの二次元コードは、動画サイトの URL が記録されており、当該ページへ移動し、動画が閲覧できるようになっています。

※機器によっては専用アプリなどが必要な場合もあります。詳しくはお使いの機器の説明書などをご確認ください。



愛西市における
耕作放棄地の現状は
加藤 正彦 議員



▶ 農地の適正管理に向けた取組みを進める

問 愛西市における現在の耕作放棄地面積の状況は。

答 耕作放棄地と推測される農地の面積推移は、令和5年度27.2ha、令和6年度31.3ha、令和7年度36.5haで、耕作放棄地は増加傾向にある。

問 愛西市における耕作放棄地解消のための取組状況は。

答 農地利用最適化推進委員が毎年7月から8月にかけて市内全域の農地利用状況調査を実施し、管理不十分な農地所有者に対し適正管理を促す通知を送付している。また、農地のうち畑については、担い手が農地中間管理機構を通して畑を借地した場合、10a当たり2万円以内の畑作振興交付金を交付し解消を図っている。

問 耕作放棄地及び空きハウス施設等を利用する場合もあることから新規就農者育成も有効であると考えているが、愛西市の考えは。

答 新規就農者が耕作放棄地等を活用することは、有効であると認識している。今後も関係機関と連携し、就農相談から経営面の支援まで一体的に取り組み、新規就農者等の確保・育成に取り組んで行く。



副次的な籍の
教育的価値を問う
佐々木 遼平 議員



▶ 共生社会を築く上で大切な教育だ

問 インクルーシブ教育について当市の考えは。

答 障がいの有無や性別などに関係なく、子どもたちの多様性を前提とした環境整備や合理的な配慮の上、できる限り同じ環境で児童・生徒を育てていきたい。

問 当市が愛知県からモデル市に選定されている「副次的な籍」の定義と取組み状況は。

答 障がいのある児童・生徒が居住地の小・中学校と特別支援学校の双方に籍を置くことで、地域で共に学ぶ機会と、特別支援学校で専門的な教育を受ける機会の両方を実現する仕組みだ。令和7年度に2人、8年度に1人が各1日参加し、家庭科の調理実習や、国語の平仮名学習、体育のマット運動などの授業を受けた。

問 副次的な籍の教育的価値をどう考えているか。

答 単に交流の機会を増やすことだけではなく、互いに違いを理解し個性を認め合いながら、同じ地域で共に育つ仲間であるという意識を育てることにある。将来誰もが地域社会の一員として互いに支え合う共生社会を築いていく上で、大切な教育と考えている。

<その他の質問>当市の行政 DX の進捗状況は